

平成20年度用教科書のご案内

実教出版編修部

平成15年度から始まりました学習指導要領でお使いいただいております教科書も改訂時期を迎え、平成19年度から順次改訂作業を行ってまいりました。

本年は平成20年度用教科書の見本を各学校にお届けいたしますので、ご高覧・ご検討下さいますようお願い申し上げます。

なお、弊社では平成20年度用教科書といたしまして、下記に示しました新訂版8点を発行いたします。

- (工業109)「電子情報技術 新訂版」
- (工業110)「ハードウェア技術 新訂版」
- (工業111)「ソフトウェア技術 新訂版」
- (工業112)「電気機器 新訂版」
- (工業113)「電力技術1 新訂版」
- (工業114)「電力技術2 新訂版」
- (工業115)「電子技術 新訂版」
- (工業116)「電子回路 新訂版」

平成20年度用教科書の主な改訂点を次に示します。

●「電子情報技術 新訂版」

より見やすい紙面とするため2色化を行うとともに、2色化に伴う図版の見直しを行いました。コンピュータの機能と構成では、最新の写真へ差し替えを行い、制御プログラミングでは応用例を充実させました。

●「ハードウェア技術 新訂版」

章の構成を入れ替え、問・例題を増やし、理解を深めて学習できるように改訂致しました。具体的には、ハードウェアの動作原理について、アセンブラ言語を用いてわかりやすく解説いたしました。また、以前はC言語で説明しておりました制御例をアセンブラ言語に変更し、ハードウェアの動作原理と関連させて学べるよう工夫をいたしました。

●「ソフトウェア技術 新訂版」

ソフトウェアパッケージの運用を全面的に見直し、内容の充実を図りました。また、ネットワークソフトウェアの運用では、基本的なLANの構築によりネットワークの機能と設定を学習し、さらにLANをインターネットに接続する方法を新たに加え、実習までつなげていけるような配慮をいたしました。

●「電気機器 新訂版」

進展著しいパワーエレクトロニクスの章を中心に改訂いたしました。具体的には、電力変換回路と動作原理の追記や各種トランジスタについての記述を追加いたしました。また、図や写真を増やして、より理解しやすいようにいたしました。

●「電力技術1 新訂版」「電力技術2 新訂版」

電験三種・電気工事士などの資格試験とも関

連のある各種データ（JIS規格・関連法規）を見直し、最新のものを掲載いたしました。また、全体を通して、わかりにくい表現や図の改善という方向での改訂となっております。

●「電子技術 新訂版」

導入の箇所では、図やイラストを増やすことにより親しみやすい紙面づくりを心掛け、抵抗なく内容に入れるよう、工夫をいたしました。また、学習内容の理解の定着を確実にほかれるよう、本文中の例題や問を増やしました。

●「電子回路 新訂版」

他の章と比べ、ボリュームが多かった増幅回路を、基礎的な内容を学習する章といろいろな増幅回路を学習する章の二つに分け、学習の進度に合わせて授業が展開しやすいよう、章の構成を変更いたしました。また、問や問題についても全体的に見直し、確実に解けるよう本文の手直しを行いました。

準教科書「材料技術基礎」のご案内

「簡単に工業材料が学べる教科書が欲しい」、
「どの学科でも使える基礎的な工業材料の教科書が欲しい」など、多くのご意見・ご要望を

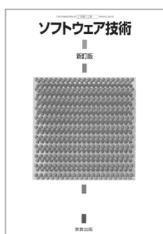
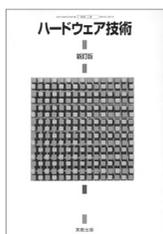
いただき、平成19年度用新刊といたしまして、準教科書「材料技術基礎」を発行いたしました。本書の構成は、次のようになっております。第1章 工業材料と社会生活／第2章 工業材料の構造と性質／第3章 金属材料／第4章 セラミックス材料／第5章 高分子材料／第6章 複合材料・機能性材料・新素材・生体用材料／第7章 工業材料の検査／第8章 工業材料と環境（監修：東京工業大学教授 里達雄，ほか大学・高専・高校執筆陣5名）



本書では、各種工業材料の性質、製造の仕方や加工方法、代表的な検査方法の基礎だけでなく、新しい工業材料の利用例としくみ、生体用材料なども取り上げております。さらに、工業材料を環境問題の点から捉え、リサイクルをはじめとする省資源・省エネルギーと工業材料との関係を学べるのが特徴となっております。

また、低単位数でも履修可能な教材とするために、各学科・各分野ごとに必要な材料を選択して学べるよう、金属、セラミックス、高分子材料ごとの章構成といたしました。

工業材料を初めて学習するさいの一助となれば幸いです。



日本工業教育経営研究会・日本工業技術教育学会 平成19年度第17回工業教育全国研究大会のお知らせ

後援 文部科学省、大阪府教育委員会、兵庫県教育委員会、
(社) 全国工業高等学校長協会、(財) 科学技術教育協会等

期 日 平成19年7月14日(土)～7月15日(日)
会 場 大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス 〒572-8530 寝屋川市初町18番8号
TEL 072-824-1131 最寄駅:京阪電車 寝屋川市駅下車徒歩10分
主 題 実践力・創造力を備えたものづくり人材の育成
日 程 第1日7月14日(土) 12:30～13:00 受付, 13:10～14:10 開会・総会, 14:30～15:40講演1,
14:50～16:30 講話, 16:40～17:40 講演2, 17:50～19:30 教育懇談会
第2日7月15日(日) 9:00～12:00 研究協議(各分科会), 12:00～13:20 昼食, 展示見学, 理事会
13:20～14:30 分科会報告・閉会

講話・講演

講話 「新しい工業教育を目指して」
文部科学省初等中等教育局参事官付教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官 池守 滋 先生
講演1 「工業教育と総合デザインカーインターネット研究をととして」
大阪大学 総長 宮原 秀夫 先生
講演2 「地域中小企業の今後の在り方」全日本ブラシ工業協同組合 理事長 稲田 真一 様

研究協議

第1分科会(学会論文) 1 MPU命令セット設実習に関する検討 堀桂太郎(明石工専) 2 ものづくりを柱とした
情報教育における論理回路学習の教材構成 工藤雄司(筑波大附坂戸高), 本村猛能(川村学園女子大) 3 ブルー
ム理論を導入した情報教育のものづくりカリキュラムの検討 本村猛能(川村学園女子大), 工藤雄司(筑波大附坂戸
高) 4 技術者の育成を目指す指導法の開発 稲毛敬吉(東京・杉並工) 5 技術職業教育におけるプロジェクト
技術協力の方向性と展望 武田正則(山形・東根工)
第2分科会(学会論文) 1 PLCを中核としたFAシステムの実習 橋本武志(埼玉・秩父農工科学高) 2 CD起動
型オペレーティングシステムにJAVA開発環境を実装した制御学習システムの開発と実践 篠崎健一(茨城・水戸工)
3 電子回路シミュレーションの解析 永坂勝弘(愛知・愛知工) 4 工業高校生の自己概念と課外活動・教科との
関連性 島田和典(大阪・佐野工科) 5 イタリアの実業教育の現状と改革 古賀史郎(大阪府教育センター)
第3分科会(工業教育の活性化) 1 工業教育の活性化を探る 川村広幸(北海道・琴似工) 2 流体の計測及び解
析 池田光治(福島・勿来工) 3 キャリア教育として捉える工業教育 西尾重健(神奈川・向の岡工) 4 中
学生を対象としたロボコン&マイコンカーの製作 番土隆(富山・砺波工)
第4分科会(教育課程の改善) 1 技能検定の取り組み 山口正行(岩手・釜石工) 2 課題研究の授業実践 竹内
千恵(愛知・滑川高) 3 技能士取得の指導法 桑野貴典(広島・広島工) 4 実践的技能・技術教育の現状と課
題 黒厚子満, 寺脇智和, 横川忍(神戸村野工)
第5分科会(個性化・特色化教育) 1 建築教育における社会貢献 沢野茂(東京・葛西工) 2 宮崎県における専
門高校の進路に関する研究 日高義浩(宮崎・延岡工), 東正之(宮崎・佐土原高), 深作貞真(宮崎大) 3 インテ
リア科における創造的なものづくり教育の推進 岡本昌久(広島・府中東高) 4 知的財産教育を通じての創造性教
育の試み 平木勉(石川・小松工)

会 費 参加費4,000円 資料費3,000円 教育懇談会費4,000円
宿 泊 各自申込
申込期限 平成19年6月22日(金)
申込方法 申込用紙は下記事務局に送付してください。
大会会費は同封の振込用紙を使って次の口座へ振り込んでください。
郵便振替口座番号 00950-5-156275
加入者名 日本工業教育経営研究会近畿支部

事務局 大阪府立淀川工科高等学校 戸谷 裕明
〒535-0001 大阪市旭区太子橋3丁目1番32号 TEL06-6952-0001 FAX06-6952-6555

工業教育資料 通巻第313号
(5月号) 定価 210円 (本体 200円)

2007年5月5日 印刷
2007年5月10日 発行
印刷所 株式会社伸樹社

© 編修
発行 実教出版株式会社

代表者 鳥根 正幸
〒102 東京都千代田区五番町5番地
-8377 電話 03-3238-7777
http://www.jikkyo.co.jp/